# マンガ 金融機関が取り扱う「預金」「為替」ってどんなもの?

画●たんばきょうこ

預金・為替業務への理解を深めるため、それぞれの法的性質や基本を学びましょう。

# 特集

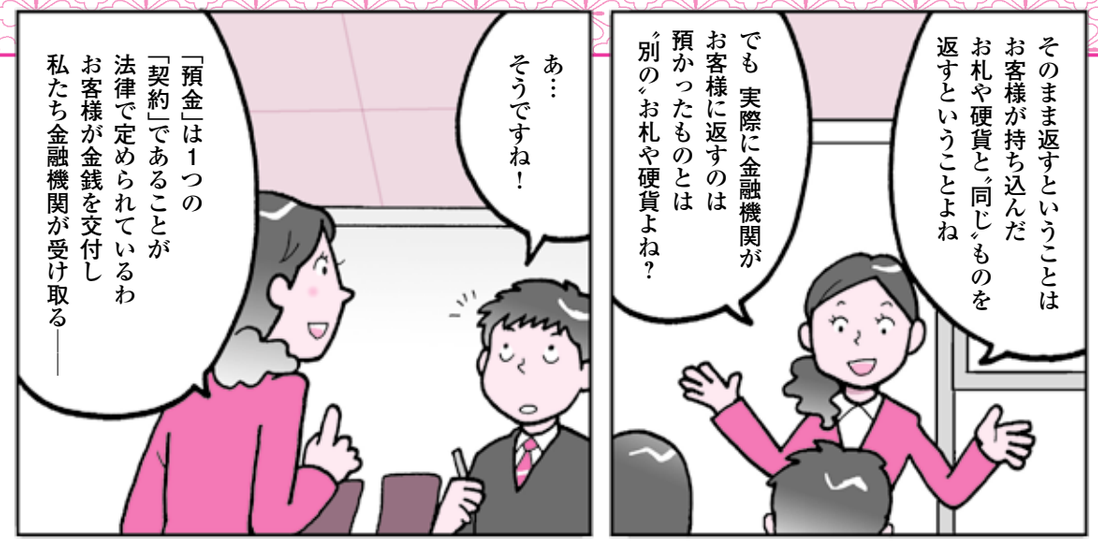
## マンガ&チャートで覚える!

# 預金・為替の窓口実務

## 担当者が理解しておくべき業務の流れ&正しい取扱い

金融機関にとって預金・為替は根幹ともいえる業務です。初めて金融機関の職務に就く新入行職員はもちろん、金融機関で働くならば、だれもが正しい取扱いを理解しておかなければなりません。

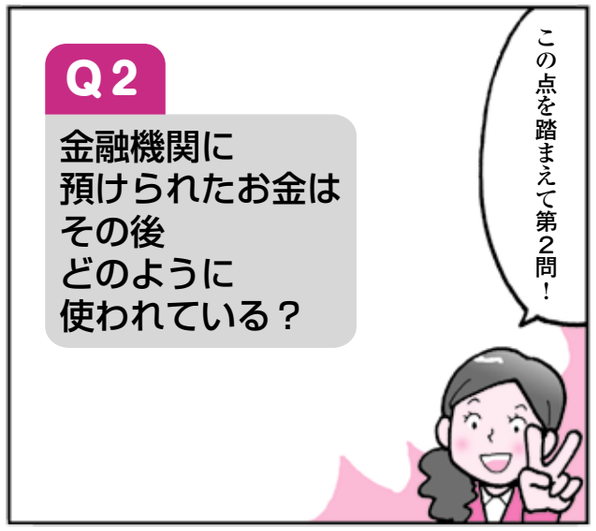
そこで本特集では、預金や為替の基本ポイントや、「口座開設」「払戻し」「振込」といった各取引の正しい取扱いなどを解説していきます。


そのまま返すということはお客様が持ち込んだお札や硬貨と〝同じ〟ものを返すということよね
でも 実際に金融機関がお客様に返すのは預かったものとは〝別の〟お札や硬貨よね？
あ…そうですね！
「預金」は1つの「契約」であることが法律で定められているわ お客様が金銭を交付し私たち金融機関が受け取る——

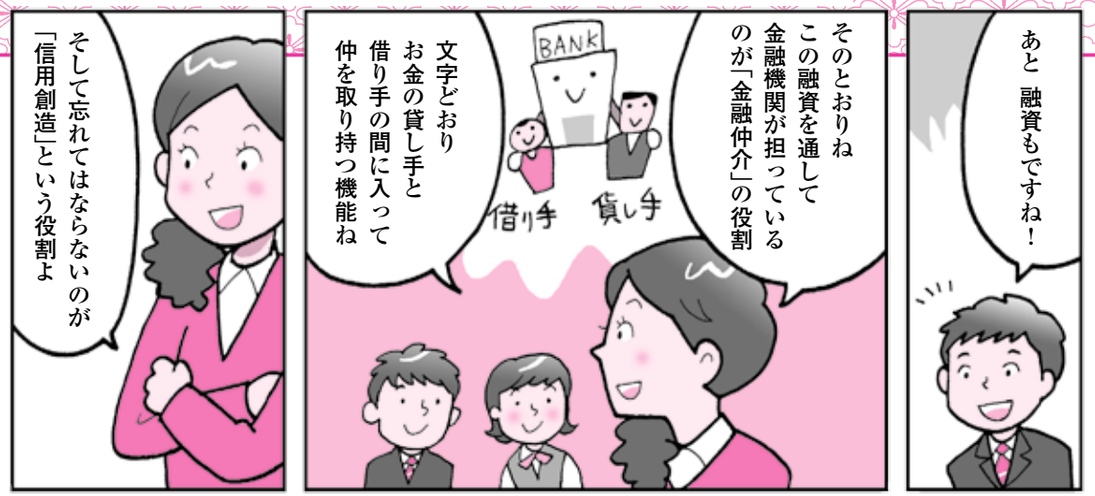
これはお客様と金融機関の間で交わされる「消費寄託契約」というものなの
消費寄託契約では一方が「預けたモノを返して」と言ったときには「預けたモノと同等のモノ」を返還すればよい——というルールなのよ

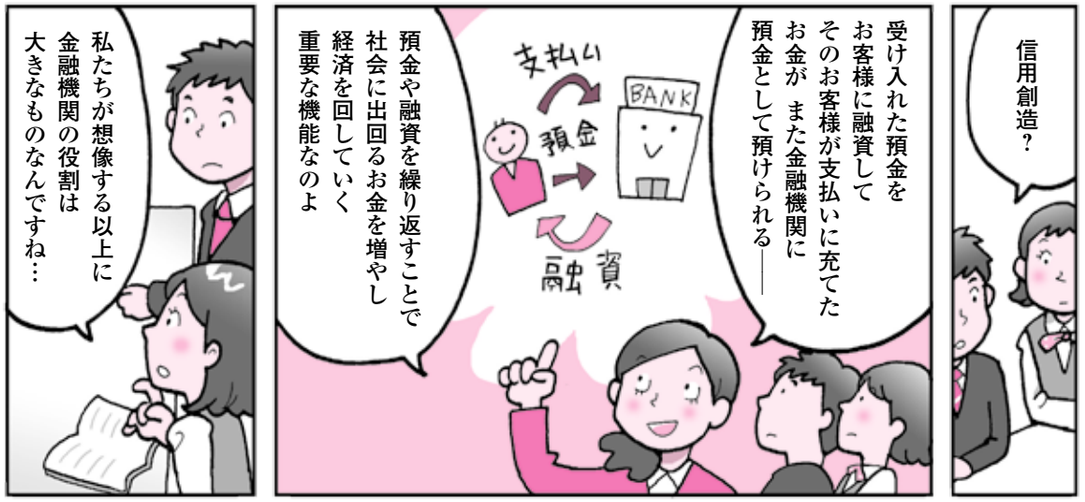
「同等のモノ」だからお客様に返すお金は同じお札や硬貨でなくていいんですね 1万円札を預かっても金額で1万円返せばいいわけだ

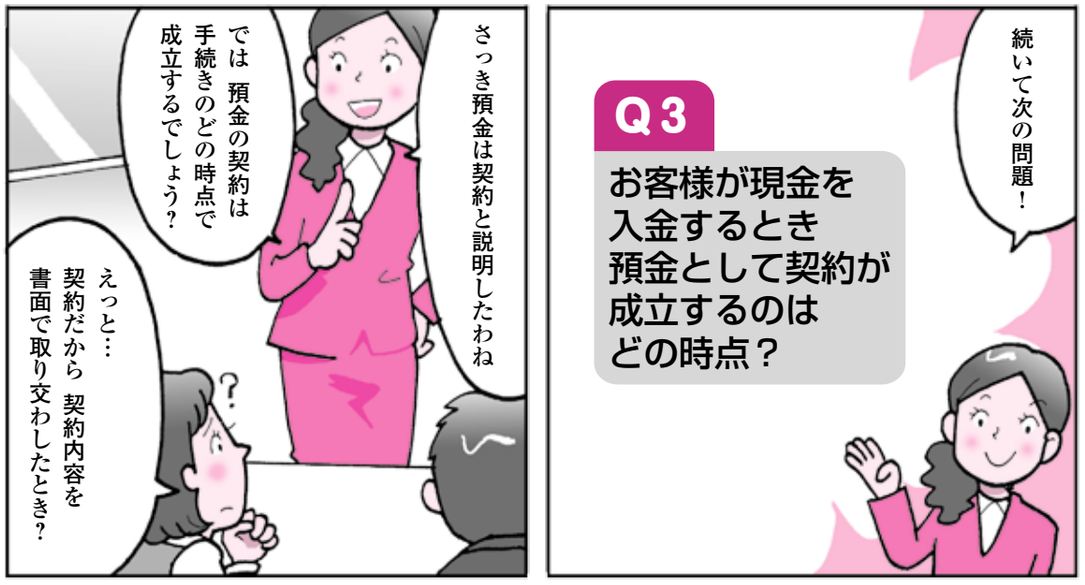
そういうこと！この契約に基づいているからこそ 私たちは現在のように円滑な形で預金を活用することができているわけ


Q2
金融機関に預けられたお金はその後どのように使われている？
この点を踏まえて第2問！

ええと…他のお客様への払戻しに充てたりATMの補充用だったり…各種代金や税金の支払いとか…


あと 融資もですね！
そのとおりね この融資を通して金融機関が担っているのが「金融仲介」の役割
BANK
借り手
貸し手
文字どおりお金の貸し手と借り手の間に入って仲を取り持つ機能ね
そして忘れてはならないのが「信用創造」という役割よ


信用創造？
受け入れた預金をお客様に融資してそのお客様が支払いに充てたお金が また金融機関に預金として預けられる——
支払い
預金
BANK
融資
預金や融資を繰り返すことで社会に出回るお金を増やし経済を回していく重要な機能なのよ
私たちが想像する以上に金融機関の役割は大きなものなんですね…


続いて次の問題！
Q3
お客様が現金を入金するとき預金として契約が成立するのはどの時点？
さっき預金は契約と説明したわね
では 預金の契約は手続きのどの時点で成立するでしょう？
えっと…契約だから 契約内容を書面で取り交わしたとき？